

# 年頭のぞ挨拶

新年明けましておめでとうございます。健やかに平成二十年の幕開けをお迎えのこととお慶び申し上げます。

我が国の経済は、戦後最長の景気拡大を続けつつある一方、少子・高齢化と人口減少、最近ではサブプライム問題、原油価格の高騰、大企業と中小企業間、大都市と地方間の格差の拡大など早急に対応を迫られている課題を抱えています。これらの課題を克服し、いかに経済成長を持続させるかが重要な課題となっています。このような中、政



内閣府沖縄総合事務局長

**福井 武弘**

府といたしましては、持続可能な経済成長に向けて、国際競争力の強化、新たな市場を開拓するイノベーションの創出、IT・サービス産業など中小企業の生産性の向上、地域資源を活用した地域経済の活性化、資源・エネルギー政策の戦略的展開など、経済成長力の強化策に政府一丸となって取り組んでいるところであります。

沖縄におきましては、平成十四年に策定された沖縄振興計画に基づき、沖縄の特性を積極的に生かしつつ、我が国ひいてはアジア・太平洋地域における社会経済及び文化の発展に寄与する特色ある地域として整備するとともに、民間主導による自立型経済を構築することを目指し様々な振興策を

推進しているところであります。自立に向けた取組としては、世界最高水準の知の拠点を恩納村に整備するという沖縄科学技術大学院大学（仮称）設立事業やアジア・太平洋に開かれ先端的情報通信技術の高度集積拠点を創るというIT津梁パーク構想など夢のあるプロジェクトも進行しつつあります。

この計画期間も残りわずか四年余りです。計画実現に向けて、これからが正念場であり、自立型経済の構築のための大変重要な時期です。

今や世界は、グローバル化、大競争時代の中にあり、沖縄の競争相手は、日本国内の各地域はもとより、中国、インド、ASEAN諸国等が想定され、それぞれの地域が切磋琢磨している状況にあります。経済を活性化させ、この競争に生き残るには、並大抵の努力では達成できません。沖縄県内の関係者が一丸となって、自立に向けての選択と

集中による戦略的取組に対する強い意気込みと大変な努力が必要です。その意味において、私も沖縄総合事務局といたしましては、沖縄県を始め各関係機関と緊密な連携の下、自立型経済の構築とともに平和で安らぎと活力ある沖縄県の実現に向けて全力で取り組んでまいり所存です。

今年一年が、我が国にとって、そして沖縄県にとって実り多い飛躍の年となりますよう祈念申し上げますとともに、引き続き、沖縄総合事務局の業務にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

